



「#(ハッシュタグ)」とは、SNS等で特定のテーマについて検索して一覧表示する機能のことです。大分県内の農林水産業の中から選りすぐりの話題を大分県拠点からお届けします。

## # 令和4年度農林水産関係第2次補正予算は8,206億円

令和4年11月21日、政府は令和4年度第2次補正予算案を国会に提出しました。農林水産関係予算の主なものとしては、以下のとおりとなっています。

- 物価高騰影響緩和対策 1,127億円
- 食料安保構造転換対策 1,642億円
- TPP等関連対策 2,704億円

このほか、持続可能な成長に向けた農林施策の推進、防災・減災、国土強靱化と災害復旧等の推進

喫緊の課題である燃油、配合飼料等の価格高騰対策をはじめ、現在要求している当初予算とあわせて、食料安全保障の確立と農林水産業の持続可能な成長の推進、防災・減災、災害復旧を推進するための予算となっています。



「令和4年度第2次農林水産補正予算」についてはこちら ⇒



## 地域資源を活用した新たな付加価値の創出に向けて

## # 6次産業化に取り組む事業者の皆さんと

### 意見交換会を開催しました！



令和4年11月18日、大分県東部振興局会議室において、6次産業化に取り組む事業者等の交流会を開催しました。東部地区の総合化事業計画の認定を受けている4事業者を先輩事業者として、加工に取り組んでいるが認定を受けていない、または加工を検討している生産者から、質問や疑問を受け、経営に対する助言や相談先のアドバイスなど活発な交流が行われました。参加者からは、地域内の事業者同士の横のつながりができた、先輩の経験談や知恵が聞けた等有意義な時間であったと好評でした。

ご自慢の商品と一緒に写っていただきました(当日名簿順)



苺屋 服部 輝美さん  
いちご加工品 (国東市)



オレンジ農園 片岡 正子さん  
柑橘加工品 (杵築市)



(合) おもち工房厚田ファーム  
厚田 真太郎さん(右)  
もち米加工品 (国東市)



(株)らいむ工房 佐藤 朋美さん  
むらさきもち麦 (国東市)



キュウセツAQUA(株) 大野 綾子さん(左)、光野 真央さん(右)  
オリーブ加工品 (国東市)



やーやまや 佐藤 裕美子さん  
しょうが加工品 (杵築市)



## # 農業者等との意見交換

大分県拠点では「現場と農政を結ぶ」ことを目的に生産者・事業者との意見交換等を実施しています。ここでは、その一部をご紹介します。

### 臼杵の有機農産物を 多くの人に知ってもらいたい

yomoyamaya 山崎誠・実里（臼杵市）  
令和4年10月19日



臼杵市地域おこし協力隊の有機農業隊員1期生として2016年から3年間活動し、2019年に有機農家として独立しました。現在は1.5haの圃場で有機JAS認証を取得し約30品目の野菜を生産するとともに、農産物加工の取組も始めています。また、毎月第一日曜日に朝市「百姓ニュースタンダード（ひやくすた）」を開催しており、県内外から多い時は300名を超える来場者で賑わっています。臼杵市の環境に配慮した農産物を多くの人に知ってもらいたい、そして消費者と生産者の顔の見える関係を作っていきたいと思っています。



### 産地交流 in 安心院オーガニックファーム

グリーンコープ生活協同組合  
おおいたほか（宇佐市）  
令和4年10月25日



グリーンコープ生活協同組合、大分大学、あまいろ商店、大分県拠点から総勢18名が、安心院オーガニックファームのほ場で、産地交流を行いました。当日は、安心院オーガニックファーム平子社長から野菜栽培や土（堆肥）づくり等の説明後、施設の見学、収穫体験を行い、参加者から慣行栽培との違いや農作業の工夫などの質問がありました。有機農業の基本は土（堆肥）づくりと除草作業ということについて認識を深めました。このような産地交流や農業体験が広がることで、生産者と消費者の相互理解が深まるものと考えます。



### かかりつけ野菜農家を持ちませんか？

Farm Sam 代表 高松 修（日出町）  
令和4年11月15日



耕作放棄地を多く抱える地元への貢献や、環境にも配慮した農業で付加価値のある商品を生み出せないかとの思いで、脱サラし有機栽培農家として再出発しました。私が実践している炭素循環農法は、肥料や農薬は一切使用せず、竹や木材チップ、廃菌床を畑にすき込むことで、土壌内の微生物を活性化させ植物と共生しやすい環境を作ることが一番のポイントです。就農2年目の現在は30aの畑でじゃがいも、大根、ラディッシュほか年間30品目を栽培し、町内の飲食店、観光ハーブ園での対面販売や自社サイトで販売しており評判も上々です。身近なかかりつけ医のイメージで、かかりつけ野菜農家としてお客さんと対話し、作っている野菜の価値を理解して購入してもらいたいです。

